

2020年11月12日

ミンクの Covid-19 に関する OIE 声明（仮訳）



（参照：OIE HP）

ミンクのような感受性動物のリスクが新型コロナウイルスのレゼルポアになることは、公衆衛生リスクを継続させて将来的に人間での感染拡大を導くという点で、世界的な懸念を引き起こす。デンマークでの最近のサーベイランスの調査結果は、人間との接触を介してミンクに導入された SARS-CoV-2 ウイルスがウイルス変異によって進化し、人間に再導入されたことを示唆している。

OIE は、このような出来事が公衆衛生に重要な影響を与える可能性があることを認めている。COVID-19 の流行は現在、人から人への感染によって持続しているが、人への新たなウイルス株の導入と循環により、伝染性や病原性が変化し、治療やワクチンの有効性が低下する可能性があるという懸念がもたれる。それでも、完全な説明はまだなされておらず、これらの突然変異の影響を完全に理解するには、さらなる調査が必要である。

動物と公衆衛生当局の間の密接な協力は、この病気の影響をより特定し、低下するために不可欠である。さらに、動物と人間の健康、および健全な生態系全体のリスクを理解するには、グローバルな One Health アプローチが必要となる。

OIE は、効果的なリスク管理措置を実施することにより、動物の健康と福祉、ひいては公衆衛生を保護するよう各国に求めている。

以下の行動を実行する必要がある：

- 国家的なリスク低減戦略の実行によって人間と感受性動物間の SARS-CoV-2 の伝播を予防
- ミンクやアライグマのような感受性動物及びこれらの動物と密接な接触をとる人について、One Health アプローチを適用した SARS-CoV-2 感染の監視

- 世界動物衛生情報システム（WAHIS）を介した OIE への動物症例の報告
- 動物から分離された SARS-CoV-2 ウイルスの遺伝子配列やその他の研究結果を世界の健康コミュニティと共有

以上の措置の実施において各国を支援するために、OIE は、COVID-19 流行の時代に、高感受性の家畜や野生哺乳類を扱う人々のためのガイドラインを作成した。

OIE は、加盟国、専門家、パートナー、特に世界保健機関（WHO）と国連食糧農業機関（FAO）と引き続き協力して、新しい科学的発見と情報が利用可能になったときに技術ガイドランスを更新する。